

おちばきょうそう



白土あつこ／作・絵
ひさかたチャイルド
Eお

ていがくねんむ

低学年向け

たっくんのおじいちゃんのにわには、おちばがいっぱいいます。たっくんがほうきでおちばをはいていると、だれかのわらいごえがしました。それはたぬきでした。たぬきはしっぽであつというまにおちばをあつめてしまいました。たっくとたぬきの、おちばあつめのきょうそうです。おちばがたくさんあつまったので、それから…。

ひっこしだいさくせん

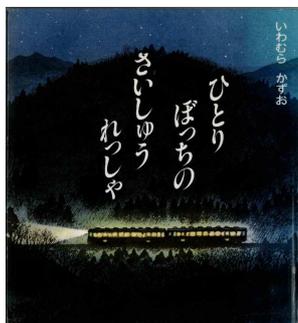
たしろちさと／さく
ほるぷ出版
大Eひ



5ひきのねずみが、ふるいビルのちかにすんでいました。ところがあるひ、おとなりさんがねこを2ひきもかいはじめました。5ひきはこわくてたまりません。そこで、ひっこしをすることに決めました。

あちこちさがしまわり、たどりついたのは、まちのゴミおきばでした。いったい5ひきは、どうするのでしょうか？

ひとりぼっちのさいしゅうれっしゃ



いわむらかずお／作
偕成社
Eひ

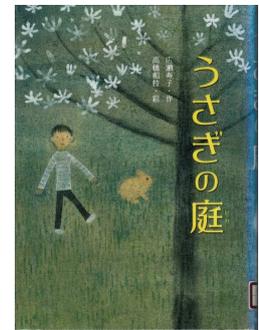
ちゅうがくねんむ

中学年向け

ある秋の夕暮れ、「ぼく」は小さななか町の駅のホームでれっしゃをまっています。景色のスケッチを終えて、下りのさいしゅうれっしゃにのりこみます。うごきだしたれっしゃにゆられ、ぼくはすぐねてしまいました。ふと、目をさますと…。いったい、なにがおこるのでしょうか？

うさぎの庭

広瀬寿子／作
高橋和枝／絵
あかね書房
913/ヒヒ



小学4年生の修は、とてもはずかしがりやで、思ったことを伝えることができない子どもですが、ウサギのチイ子にだけは、自分の気持ちをうちあけることができます。修は、ある日クラスメイトの小野くんにさそわれて、古い家に住むおばあさんに出会います。

雷神と心が読めるヘンなタネ



鎌田雄一郎／著
河出書房新社
331

こうがくねんむ

高学年向け

みなさんは、お父さんやお母さんから「相手の立場になって考えなさい。」といわれたことはありませんか。相手の気持ちになって考えるのは簡単なことのように、時にはとても難しいことですよ。この本の主人公、啓一君と、いっしょに、「ゲーム理論」の考え方をを使って、心や気持ちについて考えてみませんか。

ブラックホールの飼い方

ミシェル・クエヴァス／作
杉田七重／訳
小学館
933/タミ



みなさんは、何かペットを飼っていますか？この本は、科学が大好きな少女ステラが、真っ黒で何でも飲み込んでしまうブラックホールを飼うことになってしまったおはなしです。何でも飲み込んでしまうブラックホールにラリーという名前をつけ、自分の目の前から消したいものを飲み込ませていくステラですが…。